



ダブリン市の再開発プロジェクト

ダブリン市は、ブリッジ ストリート地区として川を活用した再開発プロジェクトを 2009 年より開始。ブリッジ パークはこの一部で、若い世代が住みたいと感じるような設備を整えた住宅や、働きたいと感じるような環境を整えた上で、企業誘致を行うことで、財政の健全化と持続可能な街づくりを目指しています。このプロジェクトで建設された橋は 2020 年に完成、世界最長の S 字型のつり橋となり、市のシンボルとなっています。



世界の地域から

オハイオ州 ダブリン市・コロンバス市 (米国)



Photo by Clair NY

コロンバス市におけるロングストリートブリッジの橋上緑化

ロングストリートブリッジは、オハイオ州で初めて橋上緑化された事例で、市の歴史や出身アーティスト、学者などが描かれたパブリックアートが設置されるなどさまざまな工夫が凝らされています。これは、低所得者や民族的・人種のマイノリティで構成される地区が、高速道路により分断されることから生まれる諸課題に対し、コロンバス市とオハイオ州運輸省 (ODOT) が共同で地域間のつながり強化を目的に実施する「CAPS」プロジェクトの一環です。